



綾瀬小だより

12月号
令和5年11月30日
足立区立綾瀬小学校
校長 小坂 裕紀

自分のできることに集中する

校長 小坂 裕紀

今年も早いもので残すところあと一か月となりました。私は4月から校長として着任し、これまでの学校だよりで「7つの習慣」の考え方を紹介し実践してきました。綾瀬小の子供たちには昼会で、高・中・低学年と二学年ずつ分け、できるだけ具体的に伝えてきました。私は、「良い習慣」は「幸せな人生を送ることができる」と思っています。そのためには、決められたこと言われたことを行うのではなく「自分で考え、判断し、行動する」ことが大切だと思っています。このことは大人でも子供でも同じ（もちろん年齢や過ごしてきた環境などには差がありますが）です。これは7つの習慣の土台であり、考え方をつくる（変える）ことは容易ではありません。そのためには日ごろから「意識して」行動することが重要です。

これからの時代を生きる子供たちには「自らの生涯を生き抜く力」を培っていくことが不可欠で、これまでの教育方法だけでは対応できないと私は考えています。AIの飛躍的な進化からもこれからの学力は「知識より考える力」にシフトしていきます。本校での宿題のあり方も含め指導方法等について再考し、実践していきます。そのためには、子供を取り巻く環境に大きな影響のある家庭教育においてもご理解・ご協力をいただくようよろしくお願いいたします。



7月号では「影響の輪」と「関心の輪」についてお伝えしました。

さて、今月号では、この内容について少し具体的な内容を紹介させていただきたいと思います。

日本とアメリカで活躍した元プロ野球選手の松井秀樹さん。松井選手が、現役時代、こういうことを言っています。「自分にコントロールできないことは一切考えない。考えても仕方ないことだから自分にできることだけに集中するだけです。」だから、松井選手は、スランプになった時も決して「外国に行って大変だ」とか「食事が合わない」とか「環境が悪い」ということを一切言わなかったそうです。「スランプになったのは自分の責任です。だから自分で変えていけるのです。」とも言っていたそうです。

また、イチローさんも同様のことを語っています。メジャーリーグのある年のこと。イチロー選手は首位打者を争っていたそうです。そのときある記者に「今日の成績（首位打者のライバルの成績）が気になるか？」と聞かれたところ「全く気にしない。自分のコントロール外のことだから」と答えたそうです。

素晴らしいですね。私は「過去は変えられないが未来は変えられる。」「自分が決めたことに責任をもつ（後悔はしない。）」と自分に言い聞かせています。松井選手やイチロー選手の考え方のようにこれからの人生、人（の気持ち）を変える（文句を言う、エネルギーを注ぐ）のではなく自分を（が）変える（わ）ように「自分のできることに集中」していきましょう！

<お知らせ・お願い>



～通学路変更～

現在、**西門を開門**しようと検討しています。
主な理由として、登校時間、車両通行止めをしているのに使用されていない。東門が混雑している。などがあります。
それに伴い、全通学路を見直しも行っていきます。
保護者の皆様には、新通学路案のお便りを児童数で配布します。
①**新通学路が安全かのご意見**②**何コースを通るのかの回答**の調査協力をお願いします。本調査を受け、教育委員会、綾瀬警察と協議を行い、決定時（2月頃予定）に再度お知らせします。
※今後、駅前にマンションができた際は再検討します。

あだち環境かるた4～SDGs版～

昨年度、足立区が募集したあだち環境かるた4～SDGs版～に綾瀬小から4名（うち1人は卒業生）の児童の作品が採用されました！
宮本旬さん、永浦愛姫さん、後藤柚花さん、おめでとうございます！

